

# ひるば

## 優良公民館紹介

第76回優良公民館(文部科学大臣表彰)  
九重町東飯田公民館

東飯田公民館 公民館主事 切木 俊介  
地域と協働して行う「ひとづくり・まちづくり」

九重町には中央公民館を含め5つの公民館があり、東飯田公民館は対象人口約2000人の「東飯田地区」に位置している。九重町では各公民館に1名ずつ町の職員が公民館主事として配置され、それぞれ地域の特色を活かした取り組みを行っている。職員は異動を伴う短期の配属期間の中で、前任の主事から「ひとづくりはまちづくり」という信念を受け継ぎ、多様化するニーズや課題に応えながら、地域の活性化に注力している。

一・希薄化した繋がりを取り戻す  
東飯田地区では60〜70代の住民が「地域の活性化」と「住みやすい町づくり」をけん引している。彼らはかつて集落の集会所や生活改善センターと呼ばれる小規模な施設を通じて高齢者向けの居場所作りに尽力していたが、コロナ禍により集まることが難しくなり、地域の交流も希薄になった。このため、新たな展開として出張公民館講座を導入した。講師と公民館主事が地域の集会所に出張して事業を行うものである。内容は音楽療法や健康漫談と健康体操、笑いヨガなど地域の人材を活かしたものを行う。地域の人とより近くで接し対話することが可能となり、普段聞くことができない相談や、要望を聞き出すことができた。地域の特色や年齢層によって集まりやすい場、話しやすい場というのは異なってくる。それぞれに応じた環境づくりの必要性を改めて実感した。



出張公民館講座

二・若者が社会教育に積極的に参画するための仕組み

次代の担い手が必要とされている中、30〜50代の人たちが社会教育へ参画し、主体的に活動することが求められている。そこで事業を行うにあたり心がけているのは、公民館が単体で企画実行するのではなく、協働の枠組みとして実行委員会を立ち上げる方針を採用している。特にこの年齢層は子どもが小・中学校に通っていることが多いため、子どもを対象とした事業であれば、より積極的な関わりを持ってくれる。公民館運営審議会委員や社会教育委員に、人材を紹介してもらったり、PTAで声掛けをしたり、広報で呼びかけることもある。「通学合宿」「軽スポーツ大会」や「地域と子ども国際交流」、「つくだらだつた祭り」など幅広い分野で実行委員会を展開してきた。主体的に関わることでできる環境を整えることで、公民館活動に関わりを持たなかった人たちが参画するようになり、地域のためにという想いを持った「ひとづくり」に繋がる。そんな想いを持った人たちが協働することが「まちづくり」になる。

三・まとめ

ひとりの100歩より100人の1歩が大切である。個人が「主体的に」集い、対話し、考え、行動できる環境を整備することが公民館の役割であり、「環境づくり」が「ひとづくり」ひいては「まちづくり」に繋がっていく。



地域と子どもの国際交流



軽スポーツ大会

# 令和5年度 大分県公民館連合会研修報告

## 公民館関係職員研修会

### テーマ別研修会①

### テーマ別研修会②



### 公民館関係職員研修会

**期日** 令和5年5月24日(水)  
**会場** 大分県立図書館 視聴覚ホール  
**参加者** 県内各地の公民館関係者(自治公民館を含む)及び社会教育関係者等75名

#### 内容

○講義1

\*講義 「公民館における人権の取組について」  
 講師 県教育庁人権教育・部落差別解消推進班 社会教育主事 猪迫 幸貴 氏

○講義2

\*講義 「これからの公民館活動のあり方」

講師 熊本大学大学院教育学研究科 教授 山崎 千秋 氏

○事例発表

\*発表 「地域力を高める公民館活性化モデル事業の実践から」『続ける』『つながる』『広げる』公民館活動」

発表者 国東市東浦地区公民館 館長 橋本 邦彦 氏

**参加者の声(アンケートから)**

・まだ若い世代の自分が何をすべきか、次世代に丸投げしない成人教育の環境を整えたい。  
 ・公民館でどのように人権学習を取り組んでいくべきか、方向性や実践の紹介を望む。公民館利用者の方が高齢者である現実にも即した活動のあり方を学びたい。受け身利用者中心の現在、気軽に参加できる地域づくりのようなものが中心になるのではないかと。  
 ・コミュニケーション化が本市でも議論されており、山城先生の講義は非常に参考になった。来浦地区公民館長さんの熱意・アイデア力・実践力に感銘を受けた。元気を頂けた。  
 ・久しぶりの対面実施でもとてもよかった。  
 ・地域によって公民館の実情が違うのでなかなか難しいが、目的や目指している方向は同じなので、少しずつ取り組んでいきたい。



### テーマ別研修会①

**期日** 令和5年7月14日(金)  
**会場** 大分県立図書館 第2・第3研修室  
**参加者** 県内各地の公民館関係者(自治公民館を含む)及び社会教育関係者等45名

#### 内容

○講義

\*報告・演習 「やさしい日本語の公民館での活用について」  
 講師 県立図書館 学校・地域支援課 主任社会教育主事 黒木 哲也 氏

○県外事例発表

\*発表 「支援学校を卒業した生徒対象の講座(一緒に学ぼう、遊ぼう、みんなの学び舎で!)」

発表者 千葉県我孫子市湖北地区公民館 (学び舎コホミン) 館長 太田 悟 氏

○県内事例紹介、シンポジウム

\*紹介1 豊後大野千歳公民館「ひょうたんカレッジ」  
 一般社団法人ここからプラス 代表理事 野中 浩一 氏

\*紹介2 大分市坂ノ市公民館「ふれあい運動あそび」  
 大分市坂ノ市公民館 主任 魚住 勝己 氏

\*協議 「共生社会の実現に向けた公民館の取組(現状と課題)」

シンポジスト 県内・外の事例公民館関係者  
 コーディネーター 県立図書館 学校・地域支援課 主任社会教育主事 小長 和宏 氏

**参加者の声(アンケートから)**

・やさしい日本語の講義を聞いてみたかったので参加した。自分で考える時間もあってとてもわかりやすかった。  
 ・放課後デイサービスに通う支援の必要なお子さんの卒業後の行き場所がないな、と感じていた。こういう活動をされている事を知り、嬉しかった。  
 ・千葉の話は、興味深い内容だった。地域住民の生涯学習に尽力していきたい。  
 ・公民館の運営と、障がい者を支援する教室の開催について大変学習になった。



### テーマ別研修会②

**期日** 令和5年9月15日(金)  
**会場** 大分県立図書館 第2・第3研修室  
**参加者** 県内各地の公民館関係者(自治公民館を含む)及び社会教育関係者等40名

#### 内容

○講義

\*講義 「防災気象情報の利活用について」  
 講師 大分地方気象台 次長 甲斐 禎朗 氏

○事例報告

\*事例報告 「災害時に対する公民館の役割と対応」

報告者 一般財団法人日田市公民館運営事業団 小野公民館 鯉川 麻衣子 氏

○講義・演習

\*講義 「地域の災害リスクをつかむ!」  
 大分県防災活動支援センター 理事長 川村 正人 氏

**参加者の声(アンケートから)**

・これからの参考になった。  
 ・防災に公民館として直接関わっていないので、もっと関わられるような仕組みにすべきだと思う。  
 ・防災対応の具体的な実践例を聞きたかった。行政の主導する防災計画に公民館をどう位置づけるのか、その点がよくわからなかった。  
 ・演習が勉強になった。  
 ・最後のグループ活動が、いろんな方の意見がきけて良かったと思う。  
 ・今後いつ何が起きてもおかしくない時代に、準備、また知ることの重要性を理解できた。  
 ・様々な公民館の職員と話ができて良かった。



# 第74回大分県公民館研究大会 九重大会

期日 令和5年10月6日(金)

会場 九重文化センター、役場本庁舎、保健福祉センター

(参加者 260名)

「公民館を拠点とした地域づくり」公民館の果たすべき役割をテーマに開催。コロナ禍での制限を緩和し4年ぶりの1日開催にて実施した。

## 内容

### ○基調講演

演題「人々がつどい、交流し、学び、文化を創造する場」

### 講師

玖珠町教育委員会教育長 梶原 敏明 氏

### ○講師からの提言

子ども達には、答えのない課題に最適解を導くことが出来る能力、分野横断的な幅広い知識・俯瞰力が必要。その能力や社会性を育むのは、学校と家庭、地域の使命である。子ども・地域が主体となり、子どもにとって地域住民の誰もが先生となりうる参画型の教育が必要。高齢者は経験豊富な連携や学校と地域が一緒になって当事者意識を持ち、共有↓熟識↓協働のプロセスを経ていくことが重要。

公民館の役割とは、大人の学び場であると共に地域づくりの核として、地域に愛着と誇りを持ち志を持って地域を担う人材の育成を図ること。「人づくりと地域づくりの好循環を生み出し」「地域住民を中心に据え、地域の絆をつなぎ地域の未来へとつないでいく」こと。公民館は持続可能な地域を創るエンジンである。



## 分科会概要

### 第1分科会 地域づくり

テーマ 『地域課題に対応した公民館活動の在り方』

発表者 ①(一財)日田市公民館運営事業団 前津江公民館

### 〈主な質疑〉

②由布市挾間公民館

館長 佐藤 香津子 氏  
副主幹 鶴岡 竜也 氏

Q活動拠点が公民館になることで、遠方からの参加が難しくなる。どう対処していたか。加えて活動が活発になるにつれジュニアリーダーを休む子どもも増加したと思うが、送り迎え等、保護者とはどのような連携・理解を得られていたか。  
A2週間に1度程度、会議を行う。中学校から近いいため、帰りに公民館へ寄ってもらうので別途集まらなくても良い。保護者へは学業などに無理のない程度で参加してもらおう事を前提にお願いをしている。

### 〈助言者より〉

・前津江は地域住民の高齢化、挾間は人口流入で利用人数が増えたことで結びつきが薄くなっている。挾間のジュニアリーダーの取組は長く続いており、県外に出た人が由布市に戻り就職するなど、循環した環境ができています。前津江の発表は、関係人口というフレーズを学べた。この2つを念頭に置いて課題解決に向けていきたい。

・少子高齢化は避けては通れない。いかに持続可能な地域づくりが出来るといいう点が大切。交通弱者や地域特性によって公民館が集まることができない課題はあるが、いかに魅力的な活動を作っていくか。今後自動運転等、インフラの課題解決がされたときに公民館へきてもらえるのか。地域の利用者が愛着を感じ公民館を利用してくれることが大切。



### 第2分科会 教育の協働

テーマ 『教育の協働と地域教育力の向上の核となる公民館の在り方』

発表者 ①玖珠町教育委員・協育コーディネーター 岩尾 純子 氏  
②竹田市直入公民館 館長 林 寿徳 氏

### 〈主な質疑〉

Q活動現場で子どもたちの反応に対して、学校や家庭はどのような反応をしているか。学校現場や家庭(保護者)は無関心が多いと聞くが、玖珠町はどうか。また、子どもたちの反応は、どういったところに報告がいくのか。  
A田植では、学校をあげて応援してくれている。子どもたちが長靴やタオルを用意するとき、家庭が関わっている。学校での取り組みは家庭に伝わっており、保護者の方から「今日は梅ちぎりをしたんだってね。」と言った話が聞けるのは、学校・地域をあげて取り組んでいるからこそ。

### 〈助言者より〉

・地域の教育力向上の方策は、地域の人材が活躍できる場や地域の人材の出席を作り継続していくことが大事。コロナ禍でかなり自粛され、もう腰を上げられないくらい低下したが、継続と輪を作ることが大切。学校で地域の方の語りや実体験をすることで、より深く子ども心に落ちると感じた。公民館だけではできない、関わっていく市民団体やPTA団体を育てていくということが大事で、人と人をつなぎ、地域とつなぐ活動を公民館を拠点として広げてもらいたい。



### 第3分科会 人権教育の推進

テーマ 『人権を尊重し、明るい社会づくりに資する公民館の在り方』

発表者 ①玖珠町教育政策課 指導主事 小野 一信 氏  
②豊後高田市田染公民館 館長 江口 英敏 氏

### 〈主な質疑〉

Q保護者対象の部落差別解消についての学習で、何か工夫があれば教えてほしい。  
A保護者については年6回の人権公開講座で学習をしている。グループワークを取り入れ、終了時には充実感が見える良い手法だった。また、年度当初に呼びかけ、こども園、小中学校、社会教育団体へ呼びかけている。

### 〈助言者より〉

・隣保館主催、教育委員会はPTA対象、公民館は高齢者対象で、必ず8月に人権講座を実施。小学生は「わくわく体験活動」で遊びの中から人権の意識づけを行う。自分の中の差別性に気づくことが大切。  
・身近なところから取り組み、カミングアウトできる環境づくりも大切。自分を語る機会をもつことが、人権の第一歩。人権意識を磨き、実践力をつける。「それっておかしいよね、一緒に考えよう」「差別をゆるさない」人を増やしていくことが重要。



### 第4分科会 自治公民館活動

テーマ 『豊かな地域づくりを担う自治公民館活動の在り方』

発表者 ①日田市住民自治組織中津江振興協議会 事務局長 永瀬 英治 氏  
②日出町藤原地区東部自治公民館 館長 徳永 稔 氏

### 〈主な質疑〉

Qイベントを計画する上で、出てきてくれる人が決まっているが、いろんな人に来てもらうには?  
A女性をうまく公民館に取り込むことが良い。ギターを弾くグループや七福神をする高齢者グループもとても良かった。どんな公民館を使って活動してくださいとすすめている。

### 〈助言者より〉

・活動をPRし認知してもらおうことが大切。地域の課題を皆で解決し、伝統芸能などの地域の宝を大事にしたり新しい文化を作ったりといった地域づくりが大事。  
・持続可能な活動にするため、時代に合わせ支える人づくりをしていくことが大切。共働きや1人親の家庭が増えている中で、地域の人が「おかえり」を言ってくれ、助けてくれる、地域で子育てをしていければ良いと若い世代に伝えながら、地域の活動に巻き込んで行くことも必要。



中津地区公民館連合会は、宇佐市、中津市、豊後高田市の3市の公民館からなる。

本会では、2年毎に研究テーマを設定し研究を推進している。令和元年度からはメインテーマに「人生100年時代を見据えた公民館活動」とし2期にわたり研究に取り組んできた。

令和5・6年度はメインテーマについては据え置きとし、サブテーマを『「つどう」「まなぶ」「むすぶ」公民館活動』と掲げ、コロナ禍によって長期間活動制限されていた間に、公民館活動が停滞している状況があることから、本来の公民館活動のあり方、社会教育施設としての公民館の本来の機能や役割、期待される姿を模索している。

また、本会では生涯学習社会における公民館活動のあり方や当面する諸課題の解決に向け、研究・協議を行い、互いの交流を深めることに



第1回研究集会 講演

よって公民館職員としての資質の向上を図ることを目的とし、



第2回研究集会 事例発表

年2回の研究集会を開催している。

本年度第1回研究集会では「あなたも美文字が書くことができる。」と題して大分県書写道指導者連合

会会長松壽典孝氏に講演をしていただき、誰もがいつでもまなびを実践することの大切さを教授していただいた。また第2回研究集会では宇佐市の津房地区公民館と豊後高田市の呉崎公民館が実践事例の発表を行った。津房地区公民館は「フリーマーケット始めました」、呉崎公民館は『「つどう」「まなぶ」「むすぶ」公民館活動』と題してそれぞれの事例を紹介し、その後意見交換がおこなわれた。今回の研究成果を踏まえ令和6年度末に研究成果をまとめる予定である。

今後ますます利用者の高齢化が進むことが予測されるなか、如何に次代の公民館利用者を開拓していけるのか研究を続けていく必要がある。

中津地区公民館連合会

事務局長 河野 典之

別府地区公民館連合会は別府市、杵築市、国東市、日出町、姫島村の5市町村で構成されている。定期総会と年1回の研修会を中心として活動しているが、各地の公民館職員が削減され、以前のように公民館同士の横の連携がとりにくく、総会の定足数の確保にも苦労するようになってきた。コロナ禍を経て、研修会を企画しても多くの参加者が望めなくなってきたのが現状である。

このような中、杵築市では公民館のコミュニティセンター化について動きがあった。杵築市では杵築、山香、大田地域の基幹公民館と地区公民館の館長が、概ね小学校区単位で設立された住民自治協議会（地域コミュニティ組織）の事務局長を兼ねている。令和4年度から地区公民館を地区コミュニティセンターへと名称を変更した。今後は、基幹公民館の名称も併設してコミュニティセンターにしていく予定だ。今までは公民館活動の拠点であった施設だが、

市長はコミュニティセンターを『第2の役所』と位置づけており、生涯学習、健康福祉、防災、地域づくりの活動拠点となる施設とするともに、コミュニティセンター長を中心として住民自治協議会が運営できる体制づくりをめざしている。つまり

は、健康福祉では健康長寿あんしん課と医療介護連携課、防災では危機管理課、地域づくりでは協働のまちづくり課、生涯学習では社会教育課というように、市役所の各組織が運営を支えていくこととなる。これまでは公民館イコール社会教育という概念があったが、これからは地域住民の活動の拠り所となるものと考えられる。

本年度は予定していた連合会としての研修会は開催できなかったが、コロナ禍後の各種講座の運営では、受講者が大幅な減少をする中でいかに受講者を確保していくか、また地域住民のニーズに答えた教室の開催等大きな課題の解決に向けて、横の連携をとりながらより良い公民館の運営をしていきたい。

別府地区公民館連合会

事務局長 平川 信哉





## 日田市 三花公民館

一般財団法人 日田市公民館運営事業団  
日田市三花公民館  
公民館主事 小野 美紀子

「三花すずめの学校」を続けていこう！

三花地区は大分県日田市北西部に位置し、中津市山国町と隣接している。令和4年9月末では、世帯数1,912世帯、人口4,450人で高齢化率は30.2%である。市街地に近い3町内では高齢化率が26%であるが、山間部は50%を超えている。

「すずめの学校」の前身は地区で一番人口の少ない旧小河内町（現在は統合され市ノ瀬町）で平成18年3月にスタートした。この活動は、簡単な計算問題や読み書きと体を動かすことを習慣化するもので、大脳前頭野を刺激し活性化することで認知症予防に効果がある。

当時の三花公民館長



指導者会議の様子(新しい活動の紹介)



三花公民館 すずめの学校本校(健康体操の様子)

はこの活動を三花地区全てに広げるべきと考え、平成19年に指導者育成活動、平成20年に三花公民館で事業を実施。平成24年には三花公民館を本校、三花地区全自治会を分校とする「三花すずめの学校」の体制が整った。「三花すずめの学校」がモデルとなり、日田市全域でも行われている。

「三花すずめの学校」では、活動を継続するために年に3回の指導者会議を行っている。指導者会議では、各分校の現状報告や悩み相談などの意見交換、新たな活動内容の提示、指導者同士の親睦が行われている。

現在新規参加者の減少や、参加者・指導者の高齢化が進んでいる。新規参加者の加入促進や指導者育成が課題である。参加者や指導者自身の健康寿命を延ばす素晴らしいこの活動を続けていくために、公民館としてサポートをしていきたい。



## 竹田市中央公民館 都野公民館

都野公民館  
館長 甲斐 明正

「地域のよりどころとして」

都野公民館はくじゅう連山を眺望する場所にあり、久住町農村環境改善センターとして平成8年6月に開館した。

公民館活動として、伝統文化・料理・音楽・運動等の10団体が登録。中央玄関入口に、「達人コーナー」を設置し、わらじ・正月用しめ飾り・トウキビの皮で作った白熊の人形等の作品を紹介している。公民館で開催される(竹田市高齢者福祉課主催の)介護予防事業「すこーく元気になる教室(月2回)」や「ゆう遊クラブ(月2回)」では、地域の高齢者20名を超える参加があり盛況となっている。

また、都野地区自治会長会や都野地区社会福祉協議会の活動や、



グランド・ゴルフ



料理教室

福寿会(敬老会)の料理教室・運動教室としても利用している。小学校からも近いため、長期休業期間中には、「放課後子ども教室(学習・折り紙・手芸・蕎麦打ち・お菓子作り)」が開催され連日にぎわっている。

その他、本公民館が管理している山村広場では、グラウンド・ゴルフクラブ(会員20名)の練習や、小学校や保育所のお見知り遠足や凧あげ大会、校内マラソン大会等にも活用している。

地域の団体や小学校の行事等で多く活用されている一方で、地域の方を対象とした教室・講座を開催しても参加者が少ないのが課題となっている。

本公民館では、地域の方が参加する会議(地区自治会長会等)を活用して、公民館主催の学習会等を開催する取り組みを行っている。引き続き、地域のニーズに合った教室・講座を計画し、「地域のよりどころ」となるよう、ともに成長する公民館を目指したいと考えている。

# 第74回九州地区公民館研究大会 長崎大会に参加して



急速に進む情報化やグローバル化に加え、コロナ禍における社会活動への対応、持続可能な社会づくりに向けた取り組みなど、社会全体が大きな変化の時期を迎えている。

このような中、公民館には、ICTの活用による新しい学びの提供、防災活動や地域運営組織の活動の拠点などさまざまな役割が期待されており、時代の変化や地域住民ニーズに対応した公民館活動を進めることが求められている。本大会のテーマは、「みんなで学ぼうで！つながらうで！」公民館の『不易』と『流行』を考える』であった。

第3分科会においては、「連携・協働による地域づくり」について協議がされた。主な内容は①「地域・家庭・学校との連携・協働」、②「他の公民館や関係機関との連携・協働」の2本の発表だった。2本の発表から、集まっているそれぞれの世代をどのように結びつけていくのかという視点や意識、事業等の構築段階から多世代交流を意識することが大事であることや、地域への関心をもたせること、若い世代が活躍する場を設定することなどが大切であることが再確認できた。

今回の研究大会に参加し、公民館職員が様々な団体・個人と関係をつくり、意見を交わしながら連携・協働していくこと、それこそが地域コミュニティの再構築および、公民館の在り方ではないかと改めて感じた。今後、学んだことを少しでも公民館職員に還元し、当公民館の運営に生かしていきたい。

大分市明治野公民館

館長 菅 博行



九州地区公民館研修大会に初めて参加した。私自身、地域の公民館で公民館主事として勤務をしていることから、今回の大会に参加し、分科会での事例発表や全体会での講演を聴講できたことは非常に有意義なものであったと感じている。

第3分科会「連携・協働による地域づくり」では公民館が中心となり、地域や学校との関係性を築き、意見を交わしながら連携・協働して取り組んだ事例発表があった。これからの持続可能な地域づくりには、それぞれの団体が垣根を越えて、一緒になって課題を共有し、それぞれの立場から意見を出し合い、解決手段を考えていくことが重要であると再認識することができた。

また全体会での講演の中では、今までになかったようなユニークで斬新な取り組み発表がなされ、公民館活動に活かすことができる大事なノウハウについて触れられていた。例えば、あえて不完全なプランニングのまま地域活動を行うことで、地域が関わる余地を残し主体性を引き出す手法や、既存の事業を今の考え方で作りなおすことで新たな価値が生まれることなど、公民館活動に閉塞感を感じていた私にとってはヒントを掴めたと思っている。

大会を通じて、公民館が地域に担う役割、そしてこれから求められる役割を頭の中で整理できたと思う。学んだことを公民館の現場で実践し、地域づくりに貢献できるように頑張りたい。

九重町飯田公民館

公民館主事 日隈 久徳

## 公民館総合補償制度

公益社団法人 全国公民館連合会

この制度は公益社団法人全国公民館連合会の団体制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は名称を問わずご加入いただけます。

### 3つの補償で公民館活動をサポートします。

#### 1. 行事傷害補償

全公連見舞金制度  
+ 災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)

#### 2. 賠償責任補償

賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)

#### 3. 職員災害補償

全公連見舞金制度+傷害総合保険  
【就業中のみの危険補償特約、入院保険金支払限度日数変更特約(支払限度日数180日)】

補償範囲や対象者が広い制度です。

年1回の手続きで安心です。

掛金には割引制度もあります。

\*このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳細については取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

■取扱代理店  
(お問い合わせ・資料請求先)

エコ総合補償サービス株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

TEL: 0120-636-717(通話料無料) FAX: 0120-226-916(通話料無料)

(受付時間:平日9:15から17:00まで)

■引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第三課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL 03-3349-3820(受付時間:平日9:00から17:00まで)



(SJ22-11969) 2022年12月27日作成 [2212K-例]

# 令和5年度地域力を高める公民館活性化モデル事業の取組

## 竹田市久住公民館

久住公民館では時代に対応できる公民館を目指し、令和3年度からSNSを活用し、日々の出来事を発信している。



口演・たか君の通学路

令和5年度地域力を高める公民館活性化モデル事業「情報発信による地域活性化」をテーマに2回の講演会を開催。緒方町のYouTube「かぼすtv」の深田さん・渡部さんを招き、収益性が難しいと言われるカボスをネット配信により販路拡大、更には草刈り作業動画を毎日発信することにより、フォロワー数4万人超で収益を上げていく話を聞いた。参加された皆さんの心に「やればできる」と言うポジティブな気持ちが生えたとと思われる。宇目町鷹鳥屋神社宮司の矢野大和さんには、小学校の通学路が観光資源なる話を聞き、何気ないものが情報発信によって大きな成果を生み出すことを学んだ。

久住公民館

館長 足立 達哉

## 大分市大分東部公民館

高校生デジタルメンターによる高齢者対象スマホ講座「ソーリンくんスマホの学校」を実施して

情報社会でのネットトラブルと高齢者の情報格差に対応すべく、高校生をデジタルメンター（支援者）として養成し、情報リテラシーを学びながら情報モラルが向上する高齢者対象「ソーリンくんスマホの学校」を実施することで、高齢者が安心安全に情報化の恩恵を得ることを目標とした。また、高校生自身も、地域への貢献を果たすとともに、研修によって自身の情報モラル・情報リテラシー向上につながり、同世代へのサイバーセキュリティ向上の波及も期待できる。

高校生22名と高齢者10名の応募があり、基本操作・安全なアプリ利用・詐欺にあわないネット通販、防災や公共サービスの利用方法などを学習した。高齢者は、「高校生がわかりやすく教えてくれた」、高校生も「教えて楽しかった、知らない情報を学べた」と好評であった。次年度は、本公民館主催事業として開講すると共に、これからスマホを持つ小中学生とその保護者を対象としても拡大していきたい。

大分東部公民館

館長 上野 隆生



スマホの学校

## 由布市畑田公民館

皆が集える公民館に

畑田公民館では、自治区の大きな行事がない月に月一回公民館開放を行ってきた。活動内容については、皆の関心があることや楽しいこと、おしゃべりの中で出されたこと（知りたいこと等）とした。具体的には、「花の育て方」、「くるくるゼロ円ショップ」、「皆で歌いましょう」、「うたごえ喫茶」、「セルフリンパマッサージ」、「認知症について」、「発酵食品について」、といった活動を行った。講師をお呼びしない時は、参加者ができることを持ち寄り行った。帰る時に「ああ楽しかった」「ためになった」「来て良かった」という声を聞くことができた。公民館の予算だけではこういった活動ができないが、県や市のお陰でいい活動の場・学習の場・地区の方の集いの場ができた。今後も一つ一つの行事を大事にし、地区の誰でも集える場・笑い声の絶えない公民館にしていきたい。

畑田公民館

館長 大野 直美



認知症講座

リンパ講座



## 由布市喜多里公民館

私たちの喜多里公民館には、「共助」を示す「目配り、気配り、思いやり」の標語が掲げられている。

この96世帯230人の自治区には、子育て世代はいるものの「老・老世帯」「独居高齢者」等が増え、今まで以上に多世代にわたる「共助」が求められているところである。住み慣れた地域で暮らし続けていくのであれば、住民同士の協力が不可欠であり、大切なことは支え合いながら絆を深める交流である。また、小地域ネットワーク活動を豊かに広げ充実を図っていくことも必要である。

今年度は大分県のモデル事業として、多世代交流会、サロン、防災探検等を実施した。今後も標語を実現し活動を維持するために、「若い人には知識を」、「年寄りには生き抜いた知恵を」、「互いが出し合いながら世代間交流を合言葉に交流を深め地域課題の解決に向けて未来を描いていきたい。

人生100年時代、豊かな生き方として単に余生を楽しむのではなく、暮らしの質の向上を求め、地域の活性化につながればと思うところである。

これからも公民館を核として、住民が主役で単なる「近所」でなく、近くを助ける「近助」の気持ちであり続けたいと願っている。



サロンの様子

喜多里団地自治区

ビタミンクラブ 会長 荒井 武敏

# お知らせ

## 表彰

### 大分県公民館連合会表彰

#### 「公民館勤続職員表彰」

中津市小楠コミュニティセンター

館長 高倉 正博 氏

中津市今津コミュニティセンター

館長 金丸 隆 氏

宇佐市安心院地区公民館

前館長 小野 寿明 氏

大分市神崎校区公民館

前公民館主事 安東喜代美 氏

大分市吉野校区公民館

前公民館主事 諏訪真理子 氏

臼杵市野津中央公民館

元館長 芝田 英範 氏

竹田市中央公民館松本分館

前分館長 後藤 清 氏

竹田市中央公民館菅生分館

前分館長 池田 政憲 氏

竹田市中央公民館白丹公民館

前館長 佐藤 雄治 氏

#### 「公民館運営審議会委員表彰」

九重町飯田公民館 公民館運営審議会

会長 安部 道和 氏

### 広報コンクール表彰

#### 「公立公民館報の部」

佐伯市上堅田地区公民館

「上堅田地区公民館だより」

臼杵市南野津地区公民館

「かわら版 寺子屋」

竹田市直入公民館

「つながり」

#### 優良賞

臼杵市田野地区公民館 「月刊 501」

別府市朝日大平山地区公民館

「朝日大平山地区公民館報」

#### 自治公民館報の部

#### 優秀賞

玖珠町八幡自治会館 「やばたさんほーる」

別府市中須賀東町公民館 「つくし」  
玖珠町森自治会館 「つのおれホールだより」  
別府市扇山公民館 「扇山通信」

#### 優良賞

別府市関の江新町公民館 「関の江新町」

#### 「ポスター・チラシの部」

#### 優秀賞

竹田市中央公民館宮砥分館「宮砥の星空観測会」

大分市植田校区公民館「バス旅行募集チラシ」

#### 優良賞

### 令和6年度 事業の予定

#### 大分県公民館連合会関係

#### 諸会議

期日：4月5日(金)

会場：大分市(県庁舎)

内容：令和5年度会計監査

#### 第1回理事会

期日：5月17日(金)

会場：大分市(大分県立図書館)

議事：令和5年度事業報告、  
令和6年度事業計画等

第75回九州地区公民館研究大会第2回実行委員会

期日：5月17日(金)

会場：大分市(大分県立図書館)

内容：役割分担等

#### 総会

期日：5月28日(火)

会場：大分市(大分県立図書館)

議事：令和5年度事業報告、  
令和6年度事業計画等

第75回九州地区公民館研究大会第3回実行委員会

期日：7月25日(木)

会場：大分市(大分県立図書館)

内容：大会当日の流れ等

#### 第2回理事会

期日：7月25日(木)

会場：大分市(大分県立図書館)

議事：第75回九州地区公民館研究大会大分大会、  
大分県公民館連合会表彰等

第75回九州地区公民館研究大会第4回実行委員会

期日：8月中旬

会場：大分市(大分県立図書館)

内容：最終確認

各地区公民館連合会会議

期日：随時

会場：県内5箇所

各地区公民館連合会研修会

期日：随時

会場：県内5箇所

大分県公民館関係職員研修会

期日：5月28日(火)

会場：大分市(大分県立図書館)

大分県公民館テーマ別研修会①

期日：10月18日(金)

会場：大分市(大分県立図書館)

大分県公民館テーマ別研修会②

期日：1月31日(金)

会場：大分市(大分県立図書館)

優良公民館・優良職員広報誌コンクール

期日：8月30日(金)

会場：大分市(533の総合センター)

※第46回全国公民館研究集会第75回九州地区公民館研究大会大分大会第75回大分県公民館研究大会にて表彰(予定)

#### 情報提供

機関誌「ひろば」発行

期日：2025年3月

ホームページによる情報提供

随時

### 九州公民館連合会関係

#### 第1回会長会

期日：4月19日(金)

会場：大分県大分市

議事：令和6年度九州公民館連合会役員(案)、  
全国公民館連合会理事會報告等

#### 第1回理事会

期日：4月19日(金)

会場：大分県大分市

議事：令和5年度事業・決算(案)・監査報告

令和6年度事業計画・予算(案)等

期日：8月28日(水)

会場：大分県大分市ホルトホール大分

議事：第46回全国公民館研究集会、  
第75回九州地区公民館研究大会大分大会等

#### 第2回理事会

期日：8月28日(水)

会場：大分県大分市ホルトホール大分

議事：第46回全国公民館研究集会、  
第75回九州地区公民館研究大会大分大会等

第46回全国公民館研究集会

第75回九州地区公民館研究大会大分大会等

期日：8月29日(木)～30日(金)

会場：大分県大分市 ホルトホール大分等

大会テーマ「絆を紡ぐ公民館」

～持続可能な人づくり、  
地域づくりを目指して～

#### 事務担当者会

期日：1月16日(木)

会場：佐賀県

議事：令和6年度事業報告・決算見込、  
令和7年度事業計画・予算(案)等

### 公益社団法人全国公民館連合会関係

#### 第13回定時総会

期日：6月5日(水)

会場：東京都(損保ジャパン日本橋ビル)

議事：令和5年度事業報告・決算報告等、  
令和6年度事業計画・予算案等

第46回全国公民館研究集会大分大会

期日：8月29日(木)～30日(金)

会場：大分県大分市 533の総合文化センター等

#### 全国公民館連合会表彰

期日：8月30日(金)

会場：大分県大分市 533の総合文化センター

議事：令和6年度事業報告・決算報告等、  
令和7年度事業計画・予算案等

第36回全国公民館セミナー

期日：1月下旬

会場：東京都

※大分県公民館連合会から1名を推薦

#### 第36回全国公民館セミナー

期日：1月下旬

会場：東京都

※大分県公民館連合会から1名を推薦

大分県公民館連合会では、ホームページを開設し、随時更新しています。

各公民館活動の様子や公民館報などの情報を、事務局までお気軽にお寄せください。

大分県公民館連合会事務局